

諫早市教育委員会議事録

令和元年第10回（9月定例）

令和元年第10回（9月定例）教育委員会

1 日 時 令和元年9月27日（金） 14時00分～15時30分

2 場 所 諫早市役所 7階 7-1会議室

3 出席者 教育長 西村 暢彦
委 員 緒方 正親
委 員 秀島 はるみ
委 員 宮本 峻光
委 員 原田 裕介

4 会議に出席した事務職員

教育次長	高柳 浩二
教育総務課長	田島 正孝
学校教育課長	有谷 孝彦
生涯学習課長	佐藤 小百合
文化振興課長	諸岡 昌史

5 議題

報告第8号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成30年度諫早市一般会計歳入歳出決算の認定について」中、12款教育費））

議事録署名人の指名

秀島委員と原田委員を議事録署名人に指名

議事録の承認

- 令和元年第9回（8月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

1 教育長の報告

- 西部学校給食センターについて

9月3日から民間委託による給食の提供を開始した。

- 9月定例市議会一般質問について

9月定例市議会の一般質問があり教育委員会関係について報告。給食費の公会計化について国のガイドラインが示されたがどうするのか、との質問では、ガイドラインが示されたばかりなのでこれから検討するとの回答をした。障害のある方への理解促進について、パラリンピックの普及目的の教材「I'm possible」についての質問があり、来年度に向け活用したい旨の回答をした。たらみ図書館の活用について、たらみ図書館の周りに多くの水鳥や昆虫が来るのでそれを展示してはどうか、との質問に対して、各図書館がそれぞれ行っている取り組みについて説明した。小中学校へのエアコン設置に関して、設置状況についての質問には、11月にすべての学校に設置することを回答、まだ使えるところはないのか、との質問には、現在工事中で今年の冬から使えるようになるとの回答、設置後の使用基準についての質問には、現在作成中であり教室内の温度の基準や扇風機を併用して使用することなどを回答、避難所にもなる体育館には設置しないのかとの質問には、避難所としての設置については教育委員会としては管轄外であり総務部の方で回答した。通学にかかる支援について、自転車通学が認められていない学校についての質問では、各学校の実情に応じて保護者の意見を聞きながら校長が決定していることを回答した。不登校関係で、保護者に対するフォローについて、夏休み明けの状況についての質問があり、夏休み前から気になっている子への対応などについて紹介した。

また、諫早市の少年センターについて、ふれあい学級に通う子供たちの体験活動をふんだんに行っており、回数やその中身については誇れることと、5名の相談員が常駐しており、更に、精神科・こども医療センター・カウンセラーの先生等の専門相談員が6名おり相談体制が充実していることの2点は胸を張れることであることを紹介した。交通安全についての質問に対しては、諫早市通学路安全プログラムについて説明した。

○台風17号について

台風17号による小中学校の被害について、児童生徒の被害はなかった。樹木の倒木や屋根の痛み、窓ガラスのひび割れ、フェンスや門扉の破損など数件あった。給食センター、社会教育施設の被害はなかった。文化財は、女夫木の大杉が枝折れ、水ノ浦のスクイ漁場の破損があった。

○尾花忌について

9月23日に高来町出身の書家「廣津雲仙」先生を偲ぶ第14回尾花忌が高来ふれあい会館で行われ、出席した。

○小学校、幼稚園運動会について

小学校7校の運動会が9月29日に、公立幼稚園2園の運動会が10月6日に行われる予定。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

不登校について、諫早市に不登校の子が何名いるのか。

[生涯学習課長]

平成30年度で、小学生が19名、中学生が91名である。

[教育長]

諫早市の小学校はだいたい横ばい状況、中学校はやや減りつつあるが、長崎県では増えている。

[委員]

不登校と認定する日数は何日か。

[教育長]

月に30日である。

[委員]

保健室に通う子の人数は分かるか。

[学校教育課長]

出席扱いになるので把握していない。

[委員]

睡眠後退症という病名が今すでに使われているが、若い人たちの睡眠時間がだんだん夜型になってきて結果的に朝起きれない状態。こういう子を病気としてどう扱っていくか。不登校ではなくとも昼からしか来られないとか、2～3時間目

から出席するとかいった子たちも拾い上げてもらえると、最終的には回復に結び付けてあげられる。幸いに諫早には睡眠専門の医師がいる医療機関が2か所ある。九州全体でも9か所しかない。早く見つければ早いほど戻りやすい。

[教育長]

スクールソーシャルワーカーや専門相談員も、不登校ではなくても子どもも保護者も相談できる。不登校傾向かなということでも相談を受けられる。私たちの課題としては、今は、そういう子がいる学校で紹介して相談に行ってもらっているが、もっと一般的に周知する必要があるのではと思っている。

2 教育次長の報告

○平成30年度一般会計歳出決算状況について

○平成30年度諫早市奨学金貸付基金の運用状況について

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

運用益金の原資はいくらか。

[教育次長]

基金の総額が4億9,700万円で、このうち貸し付けしている額と償還された額があり、利子計算期間の銀行口座にある残金にかかる利子が益金となるので、その時の現金がいくらかは分からない。なお、平成30年度末の現金は、1億7,291万9,200円である。

《 議 事 》

1 報告第8号 臨時代理の報告について(議会の議決を経る議案についての意見の申し出について(「平成30年度諫早市一般会計歳入歳出決算の認定について」中、12款教育費))

教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、文化振興課長 説明

[委員]

アレルギー対応委員会委員報償費の対象は何名か。

[教育総務課長]

アレルギー対応委員会委員のうち3名の医師が3回の会議に出席された時の謝金である。

[委員]

こども体験活動支援事業、地域教育力向上支援事業、栗林スポーツ事業、浜教育文化事業など執行残が大きな原因は何か。

[生涯学習課長]

こども体験活動支援事業は、体験活動をする団体への補助事業であるが、平成30年度は猛暑のため活動が減ったのが原因ではないかと思う。地域教育力向上支援事業は、研修会の謝金であるが、予定より執行が少なかった。

[学校教育課長]

栗林スポーツ事業、浜教育文化賞は、各種大会で優秀な成績を収めた児童生徒の表彰や、大会出場の激励金を支給しているが、対象者が少なかった。

[委員]

ブックスタート事業について、ブックスタートパックの贈呈数が1,117セットで、1歳半健診のときに贈呈しているということだが、健診対象者が何人での何割がこれを受け取っているのか。また、1セットにかかる費用はどれくらいか。

[生涯学習課長]

1,200セットを購入しており、1セット当たり1,700円程度である。

[教育長]

1歳半健診に来られなかった家庭にも健康福祉部の保健師が出向くときに持って行っており、全てに行き渡るような努力はしている。

[委員]

この事業は、ぜひ続けてほしい。

[委員]

学校施設ブロック塀改修工事が4校あるが、ブロック塀に鉄筋は入っていたか。

[教育総務課長]

鉄筋は入っていたが老朽化が進んでいて、大規模地震の際に倒壊の恐れがあるので、国の補助事業を活用して翌年度に繰り越して行う工事で、今月中にすべて終わる。

了承

《教育総務課長の報告》

- 幼児教育の無償化に伴う市立幼稚園の無償化について
- 令和元年度長崎縣市町村教育委員会研究大会について

その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

15時30分閉会